



吉井中学校通信

～高い志を持ち、心豊かでたくましい生徒の育成～

うきは市立吉井中学校
第 12 号

令和5年11月20日 発行

文責 校長 竹並俊和

筑後地区新人大会が開催される

11月3日(金)に筑後地区中学校体育連盟新人大会(前期)が行われました。吉井中学校からは、ブロック大会で優勝したサッカー部が筑後地区新人サッカー大会(於 グリーンピア八女サッカー場)に参加しました。結果は惜敗でしたが、決勝まで駒を進めた広川中と1回戦で対戦し、延長戦を戦い抜き、0-0、惜しくもPK3-4でした。今回の悔しさをばねに、是非来年の夏にはリベンジしてください。今後の活躍を期待します。また、令和5年度新人大会よりうきは市では、女子剣道部を浮羽中と合同で行う拠点校部活動の形をとっています。吉井中2年生の森由莉奈さんがチームの一員として筑後地区大会に出場し優勝しました。おめでとうございます。チームは、12月9日(土)に福岡市民体育館で行われる福岡県新人剣道大会に出場します。精一杯頑張ってください。応援しています。



進路説明会 高校の先生方が直接説明

11月2日(木)に令和5年度第2回進路説明会を開催しました。本年度の進路のスケジュール及び近隣の県立高校私立高校13校に参加していただき、各自選択した県立高校2校、私立高校2校の説明を高校の先生から直接話してもらいました。多くの保護者にも参加していただきありがとうございました。3年生は、これまでに体験入学などを通して高校の情報を取得し自分の進路選択に向けて考えてきました。12月には3者面談、入試といよいよ受験本番となります。今回の進路説明会も貴重な時間となったことと思います。自分自身の進路実現へ向け有終の美を飾れるよう入試までの時間、しっかりと努力を積み重ねてほしいです。



☆ キャリアモデルとの出会い体験学習 ☆

11月10日(金)、『1年生キャリアモデルとの出会い体験学習』を行いました。県内の7つの企業より12名の講師の皆さんにお越しいただき多くの人生の先輩方と出会い、その生き方に学び、自分自身のキャリアデザインを描いていこう、働くことと学ぶことをつなげようという学習を行いました。次の企業の方々に来ていただきお話を聞きました。生徒たちの夢が膨らみました。また、PTA 研修委員会の皆様方にも、各教室の担当者としてお手伝いいただきました。講師の皆様、PTA 研修委員会の皆様ありがとうございました。

	事業所	役職等
1	うきは市役所	市民生活課住民係主事
2	うきは警察署	警部補・巡査長
3	日本赤十字社	学術情報課長
4	パティスリーナチュラル	オーナーシェフ
5	ダイハツ工業株式会社	九州開発センター統括室
6	日本航空株式会社	福岡空港支店国内線部門
7	株式会社かがし屋	監査役

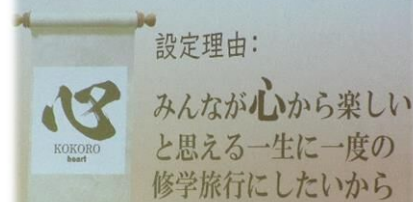


修学旅行へ向けて

11月10日（金）修学旅行説明会を行いました。保護者の方々にも参加していただきました。2年生は2学期が始まってすぐに生徒による修学旅行実行委員会を立ち上げ、9月からスローガンはもとより、携行品、修学旅行のルール作りを自分たちの力で取り組んできました。各クラスでアンケートを取り、それらをもとに実行委員会が原案を作り、各クラスで話し合いを重ね、学年のみんなの意見を取り入れながら決定をしています。この日の説明も、生徒実行委員会を中心に行いました。2年生全員で事前の取組を充実させ、心に残る修学旅行にしていくものと期待しています。



(3) スローガン



北筑後スピーチコンテスト開催

11月11日（土）朝倉地域生涯学習センターにて令和5年度第6回北筑後中学生スピーチコンテストが開催されました。吉井中からは、3年生の佐藤明里さんが代表として参加しました。9月28日に校内でのスピーチコンテストが行われ8名の生徒がエントリーしました。そのコンテストで優秀賞を獲得し、今回の北筑後中学生スピーチコンテストに出場しました。当日は、『A Calendar of the Earth』の英語スピーチを披露してくれました。参加していた英語科の先生方も発音の良さとしっかりとしたスピーチに感心していました。緊張の中、自分の力を発揮できる姿に感動させられます。

福岡県PTA 連合会北筑後ブロック研修会

11月12日（日）白壁ホールにて、令和5年度福岡県PTA 北筑後ブロック研修会が開催されました。実践発表1では、地元報告として、「会員のニーズに合わせたPTA活動へ」のテーマでうきは市立御幸小学校PTAが発表され、実践発表2では、「SNS等の使用による課題解決に向けたPTAの取組～『スマホに係る新家庭教育宣言』～」を位置づけたPTA活動を通して～というテーマで吉井中PTA会長の手嶋茂さんと副会長須山聡美さん、塚本達也教頭先生に発表していただきました。発表後フロアからの質問もあり、北筑後教育事務所の庄司指導主事より、吉井中学校の取組の良さとして、①実態把握をしながら宣言について見直しをしていること。②オンライン配信をしながら、著作権や肖像権についての学習をし、気づきを持っていることを挙げていただきました。また、今後の方向性として、子どもの使い方と併せて大人の使い方についても親子で考える視点を入れていけたらというアドバイスをいただきました。その後の講演会では「子どもの声、聴こえていますか？～SNS相談から見た子どもたち～」の演題で社会福祉法人甘木山学園理事・子ども家庭支援センター甘木山センター長の坂口明夫氏を講師に迎え講演していただきました。先生は全国を飛び回り、年間200件を超える講演をされているということでした。子どもが自立していくことは、独りで頑張ることではなく、自分に必要な助けが何かを人に伝え、支援を受けるという力「受援力」（困ったときに助けてと言える力）だと話されました。そして、人と人との出会いである「縁」を大切に、出会った人々が、誰かが誰かに元気を与えるのではなく、元気を分け合うことを大事にし、出会った人々が、誰かが誰かに元気を与えるのではなく、元気を分け合うことを大事にし、子どもたちの相談を受けてこれたとご自分の体験を話されました。子どもの気づく権利を奪ってはいけない。大変な思いを経験することで大きな成長を手にすることができる。そうすると見える景色が広がる。私自身胃の腑に落ちる大きな気づきをもらいました。



本校PTAからは運営委員の皆様に参加をいただきました。お疲れさまでした。ありがとうございました。